

第3学年国語科学習指導案

日時 平成22年9月29日(水)公開授業1
児童 3年2組(男17名 女18名 計35名)
指導者 竹内 三千夫

日時 平成22年9月29日(水)公開授業2
児童 3年1組(男17名 女19名 計36名)
指導者 月井 多美子

1 単元名 場面の様子をそうぞうしながら読もう

2 教材名 ちいちゃんのかげおくり(あまん きみこ 作)
補助教材 おはじきの木 (あまん きみこ 作)

3 単元の指導目標

【国語への関心・意欲・態度】

いろいろな読み物に興味を持ち進んで読むとともに、言葉や表現に即して、場面の様子やその移り変わりを想像しようとする。

【読むこと】

場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述をもとに想像しながら読むことができる。(読むこと ウ)

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づくことができる。
(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 ア)

4 単元の評価規準

| 国語への 関心・意欲・態度 | 読む能力 | 言語についての 知識・理解・技能 |
|--|---|------------------------------------|
| いろいろな読み物に興味を持ち進んで読めるとともに、言葉や表現に即して、場面の様子やその移り変わりを想像しようとしている。 | 場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述をもとに想像しながら読もうとしている。 | 言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づいている。 |

5 指導にあたって

(1) 児童について

児童は、これまでに「きつつきの商売」や「三年とうげ」で物語文の学習をしてきた。「きつつきの商売」では、音を表す言葉や会話文から情景を想像して、情景や登場人物の様子がよく分かるように音読する活動を行ってきた。「三年とうげ」では、あらすじ、場面の移り変わりや情景、登場人物の気持ちの変化、二つの歌、心に残る表現、好きな言葉に視点をあてて読み深め、それらを使って本の帯を作るという言語活動を行ってきた。

しかし、場面の違いや情景をもとに自分なりに想像できる子どもは限られていて、深く読み取れる子どもは少なく、個人差も大きい。自分の考えを分かりやすく表現することが苦手な子どもも多い。

書く活動は、重要語句にサイドラインを引いたり、感想を書いたり、自分の考えをまとめる活動をしてきた。それぞれ、見通しをもたせてから作業させ、それでも難しい児童には個別指導を行ってきた。しかし、自分が表現したいことを簡潔に表す力や書く速さなどは、個人差が大きい。

朝の読書タイムでは、進んで読書をしている。空いている時間や給食を待つ時間などに進んで読書をしたり、週末は、2冊本を借りて読んだり読書への関心が高まってきている児童もみられる。しかし、その読書量には大きな差があり、読書のジャンルが限られている児童も多い。

(2) 単元について

第3学年及び第4学年の「読むこと」の目標は、「目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読む能力を身につけさせるとともに、幅広く読書をしようとする態度を育てる。」である。これを受けて、本単元では、「読むこと」の指導事項ウ「場面の移り変わりや情景を、叙述をもとに想像しながら読むこと」を主目標とする。

本教材「ちいちゃんのかげおくり」は、戦争を背景とした作品である。しかし、戦争の悲惨さを直接に訴えた作品ではなく、戦争反対を声高に叫ぶ作品でもない。主人公が幼い女の子であり、父や母、兄とのかかわりを中心に書かれていることから、この時期の児童にとって主人公に親近感を持ちやすい作品である。しかし、戦争について多くのことを知らない児童にとって、場面の情景を想像して読むことや主人公の心情を豊かに想像するには難しい面もあると思われる。そのためにも、「叙述をもとに想像しながら読む」力をつけていくことにより、「ちいちゃん」に寄り添って、場面の様子と行動の関連から「ちいちゃん」の心情にも迫れると考える。

(3) 指導について

児童の実態や、単元の指導目標を受けて、本単元でつけたい力を、「場面の様子や情景をもとにしながら想像する力」「人物の気持ちを叙述をもとに想像する力」と考えた。そこで本単元は、以下の方法で指導していく。

第一次では、児童にとって、戦争をモチーフにした作品との出会いは、本単元が最初であることから、戦争に関する本をブックトークという形で紹介し、教材との出会いがより身近なものになるようにしていきたい。並行読書として戦争に関する作品を読ませていきたい。

第二次では、「ちいちゃんのかげおくり」を場面の様子を想像しながら読み深める段階である。五つの場面に分け、「ちいちゃん」を取り巻く場面の情景や、状況が刻一刻と変化している様子を、叙述をもとにして読み進めさせていきたい。その際、「ちいちゃん」を取り巻く状況の変化、場所の変化などに着目して、読み取らせ、また、言葉少なに語られている「ちいちゃん」の心情を言葉を補って読むことで、場面の状況を深く読んでいきたと考える。「ちいちゃん」に手紙を書く活動で授業を振り返り、自分の考えをまとめ、互いに交流させたい。

第三次では、同じ作者（あまんきみこ）が書いた副教材「おはじきの木」を使って、中心人物（お父さん）の行動や会話に着目し、気持ちを想像させたり、場面の様子を想像させたりすることで、本単元で「つけたい力」が定着しているかを確認していきたい。

6 指導計画 (全 12時間 読むこと 12時間)

| 過程 | 時間 | 主な学習活動 | 具体の評価規準【B】・(評価方法) |
|-----------------------|----------------|---|--|
| 一 次 3 時 間 | 1 | <p>【学習の見通しをもつ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 扉の詩を活用し、青い空について考える。 ブックトークをする。(戦争関連の本を選ぶ。) | <p>【関】「ちいちゃんのかげおくり」の題名や内容に興味を持ち、進んで読もうとしている。</p> |
| | 1 | <ul style="list-style-type: none"> 全文を読んで、初発の感想を書く。 新出漢字、難語句の確認をする。 | <p>【関】青い空について考え、進んで発表しようとしたり、友達の発表を聞いたりしながら考えを深めようとしている。</p> |
| | 1 | <ul style="list-style-type: none"> あらすじ、小見出しをならべて場面の移り変わりを確認する。 <p>※意味調べは家庭学習で取りませる。 ※並行読書を始める。(戦争関連の作品)</p> | <p>【読】「ちいちゃんのかげおくり」の話の筋をとらえている。</p> |
| 二 次 6 時 間 | 1 | <p>【「ちいちゃんのかげおくり」を読む】</p> <ul style="list-style-type: none"> 家族みんなでかげおくりをする「ちいちゃん」の様子や状況の変化を叙述をもとに読み取る。 | <p>【読】家族みんなでかげおくりをしている「ちいちゃん」の様子や気持ちを会話や行動に着目しながら想像している。</p> |
| | 1 | <ul style="list-style-type: none"> 激しい空襲のため、母と兄にはぐれ、ひとりぼっちになってしまった「ちいちゃん」の様子を叙述をもとに読み取る。 | <p>【読】空襲から逃げている「ちいちゃん」の様子や気持ちを会話や行動に着目しながら想像している。</p> |
| | 1 | <ul style="list-style-type: none"> 母と兄の帰りを待ち続ける「ちいちゃん」の様子を叙述をもとに読み取る。 | <p>【読】母と兄を待ち続ける「ちいちゃん」の様子や気持ちを会話や行動に着目しながら想像している。</p> |
| | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ひとりぼっちでかげおくりをする「ちいちゃん」の様子を叙述をもとに読み取る。 | <p>【読】ひとりぼっちでかげおくりをする「ちいちゃん」の様子や気持ちを行動や会話に着目しながら想像している。</p> |
| | 1 | <ul style="list-style-type: none"> 公園で幸せそうに遊ぶ子供たちの様子を「ちいちゃん」と比較しながら読み取る。 | <p>【読】公園で幸せそうに遊ぶ子供たちの様子を「ちいちゃん」と比較しながら想像している。</p> |
| | 1 本時 3-2 | <ul style="list-style-type: none"> 「ちいちゃん」への手紙を書く。 | <p>【読】どの場面の「ちいちゃん」に手紙を送るか考え、自分の気持ちを手紙にまとめることができる。</p> |
| 三 次 3 時 間 | 1 | <p>【副教材「おはじきの木」を読み取る】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自力読みの観点を使って読み取る。 | <p>【読】自力読みの観点をもとに、作品を読んでいる。</p> |
| | 1 本時 3-1 | <ul style="list-style-type: none"> 中心人物(お父さん)の様子を読み取り、気持ちを想像する。 | <p>【読】会話や行動に着目しながら読み取り、中心人物(お父さん)の気持ちを想像している。</p> |
| | 1 | <ul style="list-style-type: none"> 「お父さんに聞こえた声」を交流しあう。 | <p>【読】お父さんにどんな声が聞こえたか、想像したことを交流している。</p> |

7 本時の指導 (12/13)

(1) 研究との関わり

「ちいちゃんのかげおくり」で行動と会話をもとにしながら、叙述に即して読むことで中心人物の気持ちに迫ることを学んだ。そのことを「おはじきの木」の読み取りに生かすことで、自力で読み取る力が、より確かなものになると考えた。

(2) ねらい

行動や会話に着目しながら、お父さんの気持ちを想像することができる。

(3) 展開

| 段階 | 学習活動 | 教師の支援と評価 (○主発問 ・支援) |
|-------------|--|--|
| つかむ 5分 | 1 前時の学習内容を想起する。 2 学習課題をつかむ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・いつ、どこで、だれが、何をした話なのかを確認する。 ・登場人物を確認する。 |
| | <p>お父さんには、かなこのどんな声が聞こえてきたのでしょうか。</p> | |
| ふかめる 38分 | 3 お父さんの気持ちを想像する。 (1) 本文を読む。 (2) お父さんの行動、会話にサイドラインを引く。 (3) お父さんの気持ちを想像する。 (4) お父さんに聞こえた声を想像して書く。 | <ul style="list-style-type: none"> ・会話や行動に気をつけながら読むことを確認する。 ・サイドラインを引くことで、お父さんの行動、会話に着目させる。 ・げんさんは～で始まる文を見つけさせる。 ・お父さんのかなこへの思いを想像させる。 <p>○お父さんには、かなこのどんな声がきこえてきたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どうして、そのような声が聞こえたのかを、お父さんの会話や行動、場面の様子から理由も書けるようにさせる。 |
| | <p>具体の評価規準</p> <p>A…お父さんの行動や会話をもとにしながら、場面の様子を考え、聞こえた声を想像することができる。</p> <p>B…お父さんの行動や会話をもとにしながら、聞こえた声を想像することができる。</p> <p>C への支援…行動や会話文に着目させる。(サイドラインを引いた場所をもう一度確認する。)</p> | |
| | (4) 書いたことを発表する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・友だちのいろいろな考えにふれさせる。 |
| まとめる 2分 | 4 次時の学習課題を確認する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・次時は想像したことを友達と考えと交流し、さらに考えを深めることを知らせる。 |

(4) 板書計画

おはじきの木

あまん きみこ 作

お父さんには、かなこのどんな声が聞こえてきたのでしょうか。

- げんさん（お父さん）は、
 - ・「この木か。この木の下か。」と、いくどもうめくようにつぶやきました。
 - ・とっさにもいきました。
 - ・会社をやすんでしまいました。
 - ・おはじきをしていた子は、まちがいなくかなこだ、と、おもいました。
 - ・くらしていたうちのちかくの にれの木だと わかったからでした。
 - ・かたられたことばの一つ一つを、あついむちのように、おもいだしていました。
 - ・かたく目をとじました。
 - ・すると、
- 木の中から、かなこの声がきこえてくるような気がしました。

第3学年国語科単元構想表

1 **単元名** 場面の様子をそうぞうしながら読もう

2 **教材名** 「ちいちゃんのかげおくり」 (あまん きみこ 作)

副教材 「おはじきの木」 (あまん きみこ 作)

3 単元の目標

場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述をもとに想像しながら読むことができる。

4 つけたい力

(1) 児童の実態

- ・いつ、どこで、誰が、何をした話なのか、話の大体をつかむことはできる。
- ・人物の性格や気持ちの変化を叙述をもとにしながら読み取ることが難しい。

(2) つけたい力

- ・場面の様子や情景を叙述をもとにしながら想像する力
- ・人物の気持ちを叙述をもとにしながら想像する力

5 言語活動

同じ作者（あまんきみこ）の作品を読む。

6 自力読みの観点

【これまでに身に付けた自力読みの観点】

- ・場面の情景や人物の気持ちが伝わる音読の表現。
…場面の様子がよくわかるように工夫して音読する。
- ・登場人物の性格を押さえ、関係や役割をとらえる。
…ちいちゃんや家族の行動や会話、地の文から読み取る。
- ・あらすじ
…いつ、どこで、だれが、何をした話なのかをとらえる。
- ・冒頭（発端）・展開・山場・終末を読む。
…出来事がいくつあったかを手がかりに場面を押さえ、場面ごとの小見出しをつけて並べる。

【本単元で重点的に指導する自力読みの観点】

- ・中心人物の心情の変容
…行動や会話から中心人物（ちいちゃん）の気持ちを考える。
- ・クライマックス
…ひとりぼっちでかげおくりをするちいちゃんの様子から気持ちを読み取る。
- ・一文で書く
…ちいちゃんが戦争によって、かげおくりをしながら空にきえた話。
- ・繰り返し出てくる重要な表現
…かげおくり、空の言葉に着目しながら読み進める。
- ・特徴的な表現方法
…—（ダッシュ）に言葉を補うことができる。
現実の世界と非現実の世界との違い。